

# 再生改質混合物の 早期導入など要望

協賛  
埼玉アスファルト合材協  
埼玉と意見交換  
埼玉県

応できる工場▽配合設計書  
提出までの必要日数と出荷  
可能範囲の資料を県に提  
出した。  
他の要望事項のうち、県  
は「機械式フォームド中温  
化混合物の導入」と「重交  
通対応・全天候型常温混合  
物の仮復旧への使用」を継  
続して検討するとした。

埼玉アスファルト合材協  
会（中原誠理事長）と埼玉  
県は、さいたま市内で5日  
に意見交換会を開いた。写  
真。▽機械式フォームド中  
温化混合物の導入▽重交通  
対応・全天候型常温混合  
物の仮復旧への使用▽再生改  
質混合物の導入の3点を

中心に議論。再生改質混合  
物は早期導入を求める同協  
会の意見に対し、県が「試  
験舗装の実施を準備してい  
る」と前向きに回答した。  
半年程度の時間をかけ、試  
験舗装の場所を選定する考  
えだ。  
意見交換には、県から県  
土整備部道路管理課の奥広  
文課長、松村隆司建設企画  
担当主幹、関根一守同主査  
らが出席した。同協会では中  
原理事長と関根信次、橋本  
修彦、西場慎一の各副理事  
長、奥田茂幹事長らが参加  
した。



再生改質混合物の導入は  
再生材の使用比率を高める  
ことにつながる。アスコン  
廃材の余剰解消といった効  
果も期待できる。同協会は  
県に特記仕様書の作成を要

望。修繕工事などで再生改  
質混合物と通常の改質混合  
物を比較するため、「試験  
舗装」を実施し、情報を水  
平展開するよう提言した。  
参考として▽試験舗装に対

